

第37回 細胞生理学セミナー/GTRセミナー

2023.7.10 16:30 - 17:30

@ 創薬科学研究館 2階講義室 & オンライン開催

服部素之 博士

School of Life Science, Fudan University

“Structure and Function of the CNNM/CorC Family Magnesium Transporter”

服部素之博士は、P2X受容体の構造を世界で初めて明らかにしたことで有名な構造生物学者です。8年前から活躍の場を中国・上海の復旦大学に移し、P2X受容体やMg²⁺トランスポーターを初めとした膜輸送体の研究を精力的に展開してこられました。また博士は、中国における日本人研究者という立場からも、日本の基礎研究に対する様々な提言を発信されてこられました。今回のご講演では、主にMg²⁺輸送体の構造解析、機械学習による構造予測ツールAlphaFold2を用いた膜輸送体の構造ダイナミクスについて最新の知見をご紹介します。

基本的に対面での講演になりますが、Zoomによるオンラインでの参加をご希望の方は阿部 (kabe@cespi.nagoya-u.ac.jp)までご連絡ください。

大学院創薬科学研究科 先端薬科学特論: 単位認定講義



連絡先
名古屋大学細胞生理学研究センター 阿部 一啓
kabe@cespi.nagoya-u.ac.jp 052-747-6838